



▲お話を伺った引馬咲和さん(前列中央)と服部星奈さん(2列目右から4人目)

第78回東海吹奏楽コンクール・中学生B部門で金賞受賞

## 磐田第一中学校吹奏楽部

7月末に行われた静岡県吹奏楽コンクール西部地区大会で金賞(1位)を受賞し、その後の県大会でも金賞(2位)を受賞。さらには、8月27日(日)に開催された愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県から30団体が参加した東海大会に出場し、金賞で最高賞にあたる朝日新聞社賞を受賞しました。

前部長である引馬咲和さん(3年)に大会の振り返りと現在部長を務める服部星奈さん(2年)へのメッセージを、服部さんには新部長としての目標を伺いました。



結果が発表された時の気持ち

演奏順に賞が発表され、自分たちが金賞と発表された時は、素直にうれしかったです。そして、金賞の中でも1位である朝日新聞社賞として学校名を呼ばれた時には、みんなで盛り上がり喜びました。全員が納得のいく演奏ができたと思いますし、それが認められて満足感と達成感でいっぱいでした。

県大会 2位からの東海大会 1位

2位という結果よりも、演奏が満足できるものでなかったことが悔しかったです。みんな落ち込みましたが、東海大会まで少し期間があったことで、音楽室から離れ、日常から演奏曲について深く考えることができました。

県大会での悔しさから、満足のいく演奏で1位をとることが全員の目標となりました。東海大会ではみんなの気持ちを一つにして、自分たちの音楽を奏でることができました。

美しいハーモニーは雰囲気づくりから

当時、自分が部長として大切にしたいのは雰囲気づくりです。自分たちがどうしたいか、どうなりたいかを考えて、みんなが楽しく活動できること、前向きに過ごせる時間を作ることを心がけ

できました。部員一人一人が自分の意見を発表できる場を作り、曲の解釈や演奏のイメージなどをみんなで話し合っ

て共有するようにしました。演奏を合わせる土台作りとして、基礎練習にも力を入れて取り組みましたが、話し合うことで、より気持ちも音も合うようになったと思います。

大会を終えて、後輩へ伝えたいこと

大会を終えて、改めて音楽の楽しさ、素晴らしさを感じ、これからも続けていきたいという気持ちが強くなりました。部長になった当時は、前年とは違う自分たちの雰囲気に戸惑いもありましたが、みんなで一つ一つ積み重ねることで、満足いく結果が残せました。今後は前例にとらわれず、自分たちのやりたいことを、自分たちのやり方で部をまとめていってほしいです。

新部長の服部さんに目標を聞きました

今年は東海大会1位という素晴らしい経験ができました。この経験を生かして、みんなが主体的に活動できる楽しい部にしていきたいと思っています。自分たちが楽しみながら、出場する大会は全部1位をとるくらいの気持ちでがんばりますので、これからも応援してもらえると嬉しいです。